

6. 保存活用計画について

(1) 保存活用計画の考え方

前項までで定めた保存活用の基本的な考え方・基本方針及び関連文化財群・歴史文化保存活用区域の保存活用に関する方針、体制整備の方針に基づき、文化財及びその周辺環境の保存活用を具現化するためには、多岐にわたる関係者との協働のもと、様々な取組みを計画的に推進していくことが望まれる。

従って、本構想の策定後に、今後推進を図る保存活用の具体的な取組み内容等を明確にした保存活用計画の策定を志向する。

(2) 保存活用計画に定める内容

本構想において提言した内容を踏まえ、今後、各種の調査・検討を実施し、保存活用計画には以下に示す事項等を定めることを視野に入れる。

① 足利におけるすべての文化財に関わる保存活用に関する事項

i. 足利市文化財データベースの内容・運用方法等

足利市におけるすべての文化財の基礎情報として、また文化財の保存管理に効果的に役立つシステムとなる文化財データベースのシステム及び運用方法等を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・データベースのシステム（掲載する情報等）の検討
- ・データベースの運用方法の検討
- ・データベース作成の進め方の検討 等

ii. 今後の調査の方向性

足利市の文化財のさらなる充実を図ることを目指し、今後、推進していくべき文化財関連調査の方向性を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・これまでの文化財関連調査の状況把握
- ・今後の調査の方針、調査計画の検討 等

iii. 文化財を活用した学校教育・生涯学習の推進の方向性

本構想において新たに発掘した文化財を活用して、市民等に足利の歴史文化への理解を深めてもらうため、今後、推進していくべき学校教育・生涯学習に係る取組みの方向性を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・学校教育による足利の歴史文化に関する取組みの展開方策についての検討
- ・生涯学習による足利の歴史文化に関する取組みの展開方策についての検討 等

iv. 文化財の一般公開の推進の方向性

文化財への愛着の醸成や文化財保護の普及啓発のさらなる充実を目指し、今後、推進していくべき文化財の一般公開の方向性を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・公開の現状の把握
- ・一般公開の方法（公開対象、公開時期、公開場所等）の検討 等

② 関連文化財群としての保存活用に関する事項

i. 保護措置（指定・登録、もしくは認定）のための基準、運用方法等

関連文化財群を構成する文化財の確実な保護を図るための措置となる、足利市独自の文化財認定制度の仕組み及び運用方法等を明示する。

《考えられる調査・検討の内容》

- ・ 認定にあたっての基準、認定の手順の検討
- ・ 認定制度の運用方法の検討 等

ii. 各関連文化財群の保存活用に関する取組み内容・進め方等

足利の歴史文化を物語る象徴として、関連文化財群を将来に渡り継承していくために、今後、推進すべき各関連文化財群の保存活用に関する取組み内容、体制、進め方等を明示する。

《考えられる調査・検討の内容》

- ・ 関連文化財群を構成する文化財の特性の把握
- ・ 文化財の修理・修復の方向性の検討
- ・ 文化財の維持管理の方向性の検討
- ・ 公有化の方向性の検討
- ・ 今後の調査研究の方向性の検討
- ・ 公開活用の方向性の検討
- ・ ルート整備の方向性の検討
- ・ 体制整備の方向性の検討
- ・ 事業等の進め方の検討 等

③ 歴史文化保存活用区域の保存活用に関する事項

i. 歴史文化保存活用区域の具体的な区域

区域として確実かつ効果的な保存活用を行っていくために、本構想において示した5つの歴史文化保存活用区域について、具体的な区域を明示する。特に、区域の設定にあたっては関係者間での共通認識を着実に構築するとともに、保存活用の取組みに係る検討の塾度を見ながら検討を進める。

《考えられる調査・検討の内容》

- ・ 自然条件、人文条件、社会条件等の調査
- ・ 各歴史文化保存活用区域の特性の分析
- ・ 区域設定の考え方の検討
- ・ 区域の検討 等

ii. 各歴史文化保存活用区域における保存活用の取組み内容・進め方等

歴史文化保存活用区域を、まちづくりと一体となって保存活用していくために、今後、推進すべき取組みの内容、体制、進め方等を明示する。

《考えられる調査・検討の内容》

- ・ 新たな法的保護措置の検討
- ・ 文化財の修理・修復の方向性の検討（関連文化財群として実施する事項と連動）
- ・ 環境整備（施設整備を含む）の方向性の検討
- ・ 利便性向上のためのサービス導入の方向性の検討
- ・ 体制整備の方向性の検討
- ・ 事業等の進め方の検討 等

④市民・行政・文化財保護に関わる専門家等の役割分担と仕組みづくりに関する事項

i. 足利市歴史文化基本構想推進委員会（仮称）の役割等

本構想策定後に、保存活用の推進を促すために設置を予定している「足利市歴史文化基本構想推進委員会（仮称）」が担うべき役割等を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・委員会の役割の検討
- ・メンバーの構成（選定方法等）の検討
- ・設置する分科会の検討 等

ii. 文化財関係団体連絡協議会（仮称）の役割等

文化財に関連する様々な組織の相互連携を促すために設置を予定している「文化財関係団体連絡協議会（仮称）」が担うべき役割等を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・既設の文化財関係団体の把握
- ・これまで市民による文化財保護の中核を担ってきた文化財愛護協会の役割の把握
- ・文化財関係団体連絡協議会の活動拠点として求められる条件等の整理 等

iii. 文化財アドバイザー制度導入の方向性

文化財の保存活用に、市民が有する専門的知識を積極的に導入する「文化財アドバイザー制度」を具現化するために、制度導入の方向性を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・関連する事例等の調査
- ・文化財アドバイザー制度導入の方向性の検討
- ・試験的実施案の検討 等

iv. 補助・支援制度導入のための仕組みづくりの方向性

国・県・市等が定めている様々な補助・支援制度を、足利における文化財の保存活用に積極的に導入することを目指し、そのために効果的な仕組みづくりの方向性を明示する。

《考えられる調査・検討内容》

- ・各種補助・支援制度の概要把握
- ・補助・支援制度を有効に活かせる仕組みの検討 等